

## 指標 8.4.2

### 指標名、ターゲット及びゴール

**指標 8.4.2** 天然資源等消費量（DMC）、一人当たりの DMC 及び GDP 当たりの DMC（※ 指標 12.2.2 と同一指標）

**ターゲット 8.4** 2030 年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。

**ゴール 8** 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。

### 定義及び根拠

#### ○ 定義

「天然資源等消費量（DMC）」は、物質フロー会計（MFA）指標であり、国内の経済活動のために消費した国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量である。また、本指標は、1 人当たり及び GDP 当たりで表すこともできる。

#### ○ 概念

DMC は、国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量（DMI）から、輸出量を差し引いたものに等しい。

#### ○ 根拠及び解釈

領土及び生産面の指標として、DMC は、ある経済の生産プロセスにおいて使用される材料の量を意味する。DMC は、経済のプロセス及び相互作用の物理的側面を表現している。1 人当たり DMC は、経済における材料使用の平均レベル（環境圧指標）を表し、代謝プロファイルとも呼ばれる。

### データソース及び収集方法

我が国における物質フロー

環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

## 算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法  
国内の最終需要のために消費した国産・輸入天然資源及び輸入製品の合計量
  
- コメントと限界  
資源や製品の種類にかかわらず全て重量単位で計上しているため、資源価値は考慮されない指標となっている。

## データの詳細集計

なし

## 参考

なし

## データ提供府省

環境省

## 関連政策府省

環境省

## 担当国際機関

国連環境計画（UNEP）